

【取扱い嚴重注意】

平成23年12月8日

聴取結果書

東京電力福島原子力発電所における事故調査・検証委員会事務局

局員 三田 浩平

平成23年11月15日、東京電力福島原子力発電所における事故調査・検証のため、関係者から聴取した結果は、下記のとおりである。

記

第1 被聴取者、聴取日時、聴取場所、聴取者等

1 被聴取者

原子力安全・保安院 根井寿規審議官（原子力安全・核燃料サイクル・産業保安担当）

2 聴取日時

平成23年11月15日午後4時から同日午後5時30分まで

3 聴取場所

経済産業省別館1階

4 聴取者

三田浩平 主査

齊藤 事務官

5 ICレコーダーによる録音の有無等

あり

なし

第2 聴取内容

日米協議について、緊急作業時の作業員の被ばく線量限度の250mSvへの引上げについて。

別紙のとおり。

第3 特記事項

【取扱い厳重注意】

別紙

1 日米協議

3月22日から始まった日米協議には、私は、全て出席をしている。また、確か4月初旬頃だったと思うが、物資調整だけに特化した実務者会合が内閣官房（安全・危機管理担当）のサイトウ審議官がヘッドで行われるようになったが、私はそれには参加していない。

日米協議がどのような態勢で実施されていたかの態勢図があるので、（本来は内閣官房が示すべきものではあるが）後日お示しする。

また、米国の避難勧告範囲（50マイル）を日本の避難距離に合わせる旨の見直しを8月頃から検討していたようだが、10月に入りやっと実現したようだ。米国の避難勧告範囲の見直しについては、私は対応しておらず、主には内閣官房や生活支援チームの方で対応していたのだと思う。

2 日米協議での被聴取者のスタンス

[Redacted content]

【取扱い厳重注意】

[REDACTED]

3 支援物資受入れ調整

3月17日に防衛省において、オーストラリアにある放水車を日本へ輸送する関係で、私は、在日米軍と協議をした。同月19日には、防衛省において、米国のバージ船による淡水輸送に使用するポンプの輸送について、私は、在日米軍やNRCと協議をした。私に関わった支援物資受入れ調整はそのくらいである。

4 保安検査官

3月13日未明頃に、私は3号機への海水注入の関係で、官邸の総理応接室に呼ばれたが、確かその時に海江田大臣、細野補佐官、寺田補佐官がその場において、細野補佐官か寺田補佐官が「保安院は何かしなくてよいのか」との旨指摘をされたことを受け、その場で海江田大臣に保安検査官派遣の大臣指示をしていただくことに同意していただき、その旨、私は、直ぐに電話で加賀企画調整課補佐に伝えた。

保安検査官からの報告については、ERC内の幹部には文書で配付されており、私もその内容を確認していたと思うが、保安検査官の報告に特段の問題はなかったと思う。

以上